

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和4年11月14日

公表: 令和4年11月14日

事業所名 放課後等デイサービス ストーニー桐生

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・指導室は定員10名に対して基準よりも多少余裕がある。 ・時間帯によってロールスクリーンで勉強スペースと遊ぶスペースを分けている。
	2	職員の配置数は適切である	4			適切である。児童発達支援管理責任者1名、常勤保育士2名 非常勤保育士1名 今後増員検討予定。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			バリアフリーになっている。トイレや必要があれば他に手すりを検討する。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			毎日常勤職員全員で朝礼、非常勤職員も含め昼礼で振り返りをおこなっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			保護者用アンケートを回収後、職員で検討しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			令和4年5月開業なので、今回のアンケートで公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			4	第三者評価は今後検討していく予定。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			計画的に研修予定を立てて実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			アセスメント→個別支援計画原案→検討会議→個別支援計画 本案の順で計画的に作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			担当の曜日を職員が決め、イベントに関しては職員全員で決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			様々なイベント等と組み合わせている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			長期休暇中は、外出、体験活動、運動、など平日にはできないことを多くできるように工夫して支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			個別活動、集団活動を毎日組み合わせている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			朝礼、昼礼で振り返りや当日の利用児の支援内容の確認など細かく確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			通常は翌日朝礼時に振り返りを職員でおこなっております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			支援内容を確認し支援記録を個別に記載している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			前回の計画から6か月以内にモニタリングを行い支援計画に見直しをしている。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4			ガイドラインの読み合わせを研修に含めて実施している。 活動に関しても組み合わせで行っている。	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4		児童発達支援管理責任者と管理者(保育士)が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		年間行事計画や週間予定は控えを頂き確認しております。急な予定変更は、電話やLINEでの対応しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	2	医療的ケアが必要な児童の受け入れはおこなっていない。何か問題があれば、提携医療の主治医との連携をおこなう体制を整えている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		2	2	現在はおこなっていないが、今後必要な場合は、児童発達支援管理責任者が情報共有をおこなっていく予定。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		2	2	移行した児童・生徒がまだいない。移行する場合、それまでの支援内容等を提供する予定。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2		2	現在はおこなっていない。研修などあれば今後利用したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4	新型コロナウイルスの影響でできていない。今後検討予定。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4			地域の部会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			主に送迎時に情報交換をさせていただいております。日頃の活動の様子は写真や連絡帳でお伝えしております。
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4		4	モニタリング時や送迎時に悩みを聞いた場合には支援をおこなっております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に内容について詳しく説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			モニタリング時や送迎時に悩みを聞いた場合には支援をおこなっております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			4	新型コロナウイルスの影響でできていない。今後検討予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			契約時に苦情受付・時間について説明しております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			毎日活動の様子を写真でお送りしております。必要に応じて行事の連絡もしております。
	35	個人情報に十分注意している	4			守秘義務の厳守を徹底しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			写真やイラストを用いてルールや伝えたいことを表現できるように対策しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	新型コロナの影響で現在はおこなっておりません。今後検討。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1	各種マニュアルは作成しております。感染症の対応に関しては随時資料を配布して周知しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		年に2回以上の避難訓練を実施しております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	虐待防止委員会を設置済みです。外部研修など参加した場合、職員間で知識の共有しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4		個別支援計画策定時に職員で協議決定し、必要な場合にはモニタリング時に説明、同意を得ています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		3	1	契約時にアレルギーの確認を親御さんに病院で指摘された内容を確認しております。また、どんな症状が起きるのか確認しております。現在、該当児童なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			ヒヤリハット事例集は作成済みです。毎日の振り返りで使用し、職員間で情報共有しております。